

六甲山で「初夏の高山植物展」開催

愛好家による山野草鉢の展示や高山植物・山野草の販売など

4月29日(土・祝)～5月7日(日)

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:秦雅夫)のグループ会社、六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治)が運営している六甲高山植物園は、様々な花が咲き誇る初夏のベストシーズンを迎えるにあたり、山野草愛好家が育てた展示鉢約100点の展示と、人気の高山植物や山野草の販売を行う、「初夏の高山植物展」を開催します。

■初夏の高山植物展 概要

六甲高山植物園で長年続いている恒例行事の1つです。関西の名立たる山野草愛好家が育てた愛鉢約100点の展示を実施。ユキモチソウやコマクサなどの、高山植物や山野草の販売も行います。

- 【期間】** 4月29日(土・祝)～5月7日(日)
【時間】 10:00～16:30
※5月7日(日)は16:00まで
【料金】 無料(入園料別途要)
【協力】 神戸山草会



初夏の高山植物展 イメージ

◇「珍奇植物展～ユキモチソウとその仲間たち～」も開催！

ちょっと変わった形をした植物、「ユキモチソウ」。六甲高山植物園内でも複数個所に群生を作っており、その姿からお客様からの人気を集めています。今回は、ユキモチソウと仲間である「テンナンショウ属」に焦点を当てた企画展を開催。映像館でのパネル展示や、園内のクイズラリー、寄せ植えの展示など、魅力を最大限に引き出す内容になっています。

- 【日程】**
4月22日(土)～5月7日(日)
URL: <http://www.rokkosan.com/hana/>



ユキモチソウ

「ユキモチソウ」について

本州(静岡県・三重県・奈良県)・四国の山地の林下に生える高さ30～50cmの多年草です。花の軸の上が白く丸くなっており、その形からお餅を連想して「雪餅草」と書きます。この筒の中に、小さな花がついた軸があります。後ろについている葉は仏炎苞で、外側が紫色、中にストライプの模様があり、一株が見ごろを迎えると、一際目立ちます。市街地では、なかなか見られないユニークかつ愛らしい形と、その名称から多くの観光客の人気を集めています。

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園
TEL:078-891-1247
〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【入園料】大人(中学生～64歳)620円 / 小人(4歳～小学生)310円 / シニア(65歳以上)520円
【開園時間】10:00～17:00(16:30受付終了) ※イベント期間中無休

<六甲高山植物園 初夏のイベント>

■沖先生のぶらぶら園内ガイド

毎回好評を博している、神戸薬科大学の沖先生による園内ガイドを今年も開催！薬草を中心に観察しながら、外見だけでは分からない植物の秘められた魅力をお伝えします。

【日程】5月13日(土)

【時間】11:00～、14:00～(各回1時間程度)

【料金】無料(入園料別途要)

【講師】沖 和行(神戸薬科大学 薬用植物園)



ぶらぶら園内ガイド

■特別講座

「ユキモチソウの仲間とその育て方」

テンナンショウ属の仲間を写真で紹介するとともに、ユキモチソウの栽培のノウハウを解説する特別講座を開催します。参加された方にはもちろんユキモチソウの苗をプレゼント。

【日程】4月29日(土・祝)

【時間】11:30～、15:00～(各回1時間程度)

【料金】1,000円(入園料別途要)

【定員】各回30名 ※要予約・先着順

【講師】瀬野 純一(園芸研究家)



ヒメウラシマソウ

■植物園の日 特別講座

「六甲山の生物多様性と六甲高山植物園の役割」

兵庫県立大学名誉教授の服部先生による講演会を「植物園の日」である5月4日(木・祝)に開催いたします。六甲山の生物多様性と六甲高山植物園の意義をテーマに、専門家の視点から、詳しくわかりやすいお話をしていただきます。

【日程】5月4日(木・祝)

【時間】13:00～14:00

【場所】映像館

【料金】無料(入園料別途要)

【定員】30名 ※要予約・先着順

【講師】服部 保(兵庫県立大学 名誉教授)



特別講座 イメージ

■植物園の日キャンペーン

5月4日(木・祝)は、「植物園の日」。植物園の日を記念して、当日の来園者全員に、次回来園時に使える半額券つきクリンソウのフォトカードをプレゼントします。5月中旬～下旬にかけては、クリンソウのピンク色の群落がお楽しみいただけます。



クリンソウ(5月中旬～5月下旬)